

「絵画」と「写真」を比較し、表現の特徴をまとめよう

～データベース「ジャパンサーチ」を使おう～

高校 3年 論理国語

「絵画の二十世紀」

資料の活用、教科・領域での活用

ねらい

- 筆者の主張をもとに既成概念や常識的なものの見方を覆し、新たな考え方を育み発信する。
- データベースの概要や検索エンジンとの違いを知り、ジャパンサーチを活用して、他者と協働しながら自己の学びを深める。

学習展開

- ① 本文の読解。絵画と写真の表現の特徴の違いについて理解させる。(教室での授業)
- ② データベースの特徴と活用法、「ジャパンサーチ」について解説。(司書による説明)
- ③ 「ジャパンサーチ」を使用し、キーワードを元に「絵画」と「写真」を選ぶ(個人活動)
- ④ 個人活動で選んだ作品をグループ内で共有し、班としてそれぞれ1作品を選ぶ(班活動)
- ⑤ 選んだ作品について、表現の特徴をまとめる。スライド各1枚(写真・絵画)
- ⑥ 班ごとに発表を行う。
- ⑦ データベースの探し方など補足を行い、今後の利活用を促す。(司書による説明)



担当教員、司書教諭、司書の3名で生徒の様子を見ながら助言を行う。

発表の様子。作品を見せながら特徴を説明。



指導のポイント

- 生徒の自由な感性や考えを引き出すために、作品年代の限定や完成スライドの例示をしない。
- 全員が同時に同じサイトを開くので、ネットワーク環境に留意する。
- 国語の授業としての流れを乱さないよう、データベースの説明は最小限に、疑問点は個別にフォローする。

司書教諭と学校司書の関わり

- 司書教諭と学校司書は教科担当教員と相談し、内容や必要な資料について打ち合わせを行う。
- 学校司書はデータベースに関する説明スライドを作成し、解説を行う。
- 司書教諭と学校司書は、教科担当教員と連携して、ジャパンサーチの使い方や検索ワードについて個別に助言や支援をする。

資料

小曾川真貴(2025)『調べ物に役立つ図書館のデータベース』勉誠社
小林昌樹(2024)『もっと調べる技術 国会図書館秘伝のレファレンス・チップス2』皓星社
中崎倫子(2024)『大学図書館司書が教える AI時代の調べ方の教科書』BOW & PARTNERS